

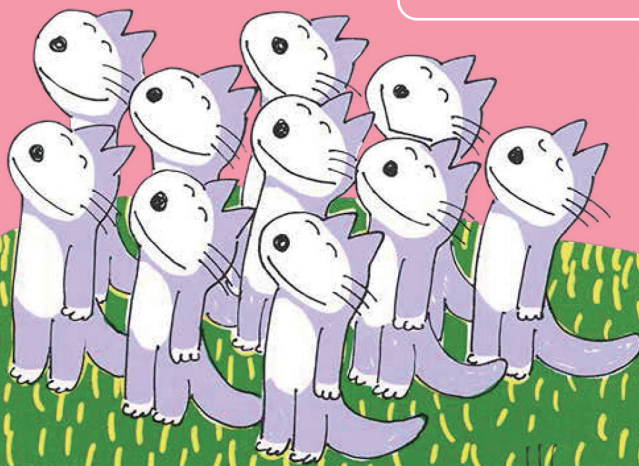
11ぴきのねこ

原作/馬場のぼる (こぐま社刊)

脚色/東口次登 演出/奥洞昇 美術/西島加寿子 音楽/茨木新平 制作/隅田芳郎

あらすじ

「あ～腹へったなあー」
いつもお腹を空かせている11ぴきのねこたち。
カモメが落とじた小さな魚をじゃんけんして
分け合いますが、
「足りな～い」「大きな魚がたべた～い」
そこで筏を作って大きな魚を探すため湖へ!
捕まえようとするものの跳ねたりぶつかってきたり…。
ねこたちはなんとか逃げのびた島で
「♪ねんねこさっしやりま～せ」と大きな魚が歌うのを
聞くのでした。
さて、大きな魚は…
ねこたちは…



©馬場のぼる/こぐま社

【始まりの物語を新たな挑戦で】

演出のことはば

数々の11ぴきのねこシリーズをホール公演作品として上演してきたクラルテが、ついに始まりの物語『11ぴきのねこ』を人形劇化。そしてより多様な空間で上演するため、

4人で演じる新たな挑戦で。

11ぴきを4人で!?

いえない人形劇なら可能なのです!

『11ぴきのねこ』の、失敗を肯定するたくましさや優しさに溢れる眼差しを通して“元気の出る”人形劇をお届けします。